



がっこうひょうか

### 学校評価アンケートの結果

学校評価アンケートは、本校の教育活動全般に関する意見を、子どもやその保護者からいただき、学校として今年度の取り組みを振り返る

ことを目的としています。そして、それを基に、年度最後の学校運営協議会で総括し、今後の取り組みについて話し合います。お忙しい中、ご協力をありがとうございました。

さて、学校評価アンケートの結果は、次のようになりました。

児：児童アンケート 保：保護者アンケート %：肯定的回答の割合  
◎：大きな成果あり ○：おおむね目標達成 △：今後の課題  
昨年度アンケート結果との比較 ↓：減少傾向 ↑：増加傾向 ※表示なし：変化なし

#### 確かな学力の定着

- ◎学び合い ききあい考え合って学習する【児：97%】 ↑授業は理解していますか【児：98%】 ↑  
学習内容を理解している【保：87%】 ↑
- △自ら学ぶ子 意欲的に学習している【保：68%】



#### 豊かな心の育成

- きまりを守る きまりを守って【児：94%】 ↑ 家庭や地域であいさつ【児：90%】
- △行動する子 学校生活をよくする【児：89%】 ↓
- ◎いじめ防止 いじめや差別はぜったいにいけない【児：100%】 ↑
- ◎安心 学校は楽しい【児：88%】 ↑ 楽しく学校へ通っている【保：91%】
- 読書 本を読むことは好き【児：79%】 読書への関心を深めている【保：67%】 ↑

#### 健康・体力の向上

- 体を大切に 自分のことを大切にする【児：92%】 ↑
- 進んで運動 たくさん体を動かす【児：90%】 ↓



#### よりよい未来社会を創造する力

- 自分の強み 自分の力を発揮している【保：88%】 ↑
- △多様な人々と協働 家庭や地域であいさつ【保：86%】 ↓
- △安全 安全・健康の意識を高める教育【保：88%】 ↓
- △人権 人権意識を身につける【保：73%】



#### 学びを支える指導体制の充実

- △生徒指導 丁寧に相談にのる【保：64%】 ↓ 相談することができる【児：78%】 ↓

#### 学校教育力の向上

- 指定物品 指定物品は、適切に選定されている【保：88%】 ↓
- 情報発信 学校だより、学年（学級）通信、HPで学校の様子を伝える【保：90%】 ↓
- ◎地域連携 地域の行事参加、地域の人に教えてもらうことは勉強になっている【児：95%】 ↑
- 環境整備 施設・設備がよく整備されている【保：84%】 ↑

## 今後の取り組みについて

◆学校評価アンケートから捉えた課題改善のために、以下の取り組みを来年度に向け検討してまいります◆

- (1) 子どもたちにとってわかりやすく、**楽しい授業づくりを継続させ、自ら学びに向かう子**を育てます。
  - ① 友だちと意見を聴き合い、考え合う楽しさを実感する協働的な学びの実現に向け、授業改善を進めます。また、個々の学び方を大切にし、ICTの活用等の子も学びやすい学習環境づくりを進めます。
  - ② 学力の基礎となる語彙力をつけ、豊かな心を育むために、家庭と連携した読書推進の取り組みを継続します。学校図書館司書や図書館ボランティアとも協同し、読書を楽しむ子どもを増やします。
  - ③ 生活科、総合的な学習の時間を核に、地域資源を活用した探究的で体験的な学びを大切にし、持続可能な社会を目指す教育を推進します。
  - ④ 家庭学習と授業との連携や自主学習の励行等、家庭学習の工夫を図り、学びに向かう力を育みます。
- (2) 委員会活動の内容の見直しや縦割り班の活用により、**楽しい学校生活づくりのため、自ら考え・繋がりを行動する子、相手（なかま）を大切にし、行動する子**を育てます。
  - ① 委員会活動や縦割り班活動（掃除）を柱に、6年生を児童のリーダーに全職員で育てていきます。
  - ② 挨拶を大切にし、自ら相手（なかまや地域の人）に関わっていこうとする態度や姿勢を育てます。
  - ③ 児童集会を通し、児童が安心して楽しく過ごせる学校づくりに、児童が中心となって取り組みます。
  - ④ コミュニケーション力の育成を目指した取り組みを改善・継続していきます。
- (3) 体を動かすことの**楽しさを知り、進んで運動する子**を育てます。
  - ① 体育の授業において、体を動かすことの楽しさを感じられるよう5分間運動を取り入れるとともに、児童の体力についての課題を明らかにし、一人一人の運動量を確保する授業改善を進めます。
  - ② 一年を通し、休み時間の学級遊びに取り組み、日常的に体を動かす環境づくりを進めます。
  - ③ 体育的行事における異学年交流の中で、自分の力を発揮させたり、教え合ったりして、“できる喜び”をなかまとともに味わう経験を重ねていきます。また、振り返りを次の活動への意欲に繋げます。
- (4) 児童や保護者が困ったり、不安になったりしたときに、**学校と相談し、支援が受けられるよう、複数の教員による指導体制や相談体制**を改善していきます。
  - ① 日頃の児童観察を大切にし、教師がアンテナを高くして、人間関係等で困っている児童に早期に気づき、見守ったり、声をかけたりして、その思いに寄り添えるように努めます。
  - ② 学校の取り組みや指導方針を学校だよりや学年通信、HP、授業参観や文化祭など様々な機会に発信し、保護者に伝えます。
  - ③ 児童の学習の理解を支援するために、少人数での指導体制を継続します。

◆学校評価アンケートで評価の高かった項目について、学校の強みと捉え、継続・拡充を目指します◆

- (1) いじめや差別はいけないことであると全員が理解することを基盤に、**更なる人権教育**に取り組みます。そして、今後も、命や体を大切にし、**自律した生活者を育てる教育**に継続して取り組んでいきます。
- (2) 人との出逢いや地域との繋がりを意識した取り組みを進め、**夢や志を持ち自分の良さを発揮させ行動する子**を育てるキャリア教育を進めます。
- (3) 今後も学校からの積極的な発信の継続に努め、保護者、地域と連携した**安全・安心な学校づくりや地域の教育力を活用した特色ある教育、小規模校のメリットを活かす教育**を進めます。

◆記述でいただいた意見について◆

タブレットの活用や英語教育に関するご意見、本物に触れる教育環境づくり等のご意見をいただきました。今後の取り組みの中で活かしてまいります。たくさんのご意見をありがとうございました。